

薬剤部

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	後藤 伸之	平成29年4月～
講師	塚本 仁	平成28年4月～

2. 研究概要

研究概要

薬剤部では、適正な薬物療法に貢献することを目的に様々な観点から研究している。例えば、個々の症例に最適な投与設計を導き出す薬物体内動態研究や、集積された臨床情報から薬剤疫学の手法を用いて、有効性・安全性を評価し、個々の適正使用情報をフィードバックするなど、個から集団へ、逆に集団から個へ、あるいは臨床から基礎へ、基礎から臨床へと幅広い研究実績を残している。特に、癌や感染症領域においては、チーム医療の中でそれぞれの専門薬剤師が中心となり、現在の高度に発展し多様化した薬物療法に安全性・有効性の科学的根拠を付加している。また、医療経済の観点から後発医薬品の使用が促進されているが、医療の質を低下させることなく後発医薬品を導入するため、その品質・安全性や医薬品情報に関する評価研究も行っている。

キーワード

医療疫学、薬剤疫学、医薬品情報、薬物体内動態、医薬品の品質管理、製剤開発

業績年の進捗状況

特色等

医薬品適正使用の実践に必要な情報を、薬物動態ならびに薬剤疫学の観点から構築している。薬剤部は病院において全診療科と密接に関連しており、臨床における薬物療法の有効性・安全性に関する種々の情報が入手可能であり、臨床の問題点に科学的なデータを付加し、適正使用情報としてフィードバックしている。さらに、診療情報からの副作用の自動検出システムを構築することで医薬品の適正使用の推進に取り組んでいる。そのため、他の診療科との共同研究も多い特徴がある。また、先進医療に積極的に取り組んでおり、薬物や代謝物の血中濃度測定や臨床試験のコーディネートならびにデータマネージメントをサポートしている。

本学の理念との関係

人々が健やかに暮らせるために必要な医薬品に関する薬剤疫学的調査により社会が必要としている医薬品の市販化に貢献している。
また、専門医療を実践する上での薬物療法を支える医薬品情報の評価・提供する研究を実践している。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2017～2022年分	2023年分	2017～2022年分	2023年分
和文原著論文	19	0	—	—
英文論文	ファーストオーサー	4	0	0(0)
	コレスポンディングオーサー	4	11.305(11.305)	0(0)
	その他	3	11.305(11.305)	7.9(7.9)
	合計	7	3.531(3.531)	7.9(7.9)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2357001

Satoshi Dote, Eiji Shiwaku, Emiko Kohno, Ryohei Fujii, Keiji Mashimo, Naomi Morimoto, Masaki Yoshino, Naoki Odaira, Hiroaki Ikesue, Masaki Hirabatake, Katsuyuki Takahashi, Masaya Takahashi, Mari Takagi, Satoshi Nishiuma, Kaori Ito, Akane Shimoto, Shoji Itakura, Yoshitaka Takahashi, Yutaka Negoro, Mina Shigemori, Hiroyuki Watanabe, Dai Hayasaka, Masahiko Nakao, Misaki Tanaka, Eiji Goto, Masahiko Matsuda, Akihiro Shimada, Akihiro Katsunishi, Yuka Nakata, Masumi Miyake, Yuka Hayashi, Yukihiro Yamamoto, Kunihiko Inai, Shohei Higuchi, Akihiro Shimada, Kyoko Hisada, Yukio Hida, Satomi Hattai, Fumihiro Kitano, Miyuki Uno, Haruka Matsukawa, Sakon Noriki, Hiromichi Iwasaki, Hironobu Naiki : Exploration of sepsis assisting parameters in hospital autopsied-patients: a prospective study, scientific reports, 13(1), 10681, 20230701, DOI: 10.1038/s41598-023-37752-3, #4.6

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

2357003

Hisato Yoshida, Shinpei Matsuda, Hitoshi Tsukamoto, Ippei Sakamaki, Hitoshi Yoshimura, Hiromichi Iwasaki: Appropriate antibiotic use for third molar extraction at a Japanese hospital, UK-Japan Joint Symposium for Oral & Maxillofacial Surgeons, 1A-2, 20240323

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

2357004

塚本 仁: Case 2 患者さんが嘔吐したとき: 外来・薬局 感染症学, じほう, 8-12, 202403

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

業績一覧

- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他
- (2) 国内学会（全国レベル）
- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- 2357005 前田太一、根来 寛、五十嵐弘幸、重森美奈、田中敏博、伊藤幸男、谷澤範彦、西川翔太、小川純也、上谷幸男、渡邊享平、塚本仁、後藤伸之：ラムシルマブ+ナブパクリタキセル療法における抗ヒスタミン薬非投与時のインフュージョンリアクションの発現に関する検討，第33回日本医療薬学会年会，20231103
- 2357006 松山千夏、西村一美、飛田征男、塚本 仁、菅原紀里、酒巻一平、岩崎博道：部署別ミーティングの実践と成果，第38回日本環境感染学会総会・学術集会，20230721
- d. 一般講演（ポスター）
- 2357007 田嶋恭典、渡邊享平、寺澤優子、山本大、柿原恵、谷内田有梨菜、白波瀬抄子、坂下雅文、上谷幸男、塚本 仁、後藤伸之：共通テンプレートに準じた同意説明文書ひな型に関するアンケート調査と業務軽減効果，第44回日本臨床薬理学会，20231214
- 2357008 後藤伸之、水草博希、塚本 仁、坂田 洋：診療報酬用データの利活用による外来診療用抗菌薬使用量集計システムの開発，日本薬学会第144年会，20240330
- e. 一般講演
- f. その他
- (3) 国内学会（地方レベル）
- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- 2357009 末廣陽子、塚本 仁、東 高士、岩崎博道、後藤伸之、酒巻一平：Candida血流感染症の診断のためのバイオマーカー活用に関する検討，第8回日本医真菌学会東海・北陸支部深在性真菌症部会，20240309
- d. 一般講演（ポスター）
- 2357010 末廣陽子、塚本 仁、東 高士、酒巻一平、岩崎博道：胆道感染由来菌血症の起炎菌と薬剤感受性パターンにもとづく初期抗菌薬の検討，第93 回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第71 回日本化学療法学会西日本支部総会合同学会，20231110
- 2357011 東高士、末廣陽子、塚本仁、酒巻一平、岩崎博道：高齢者の腎機能に対するバンコマイシン投与量の影響について，第93 回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第71 回日本化学療法学会西日本支部総会合同学会，20231110
- e. 一般講演
- f. その他
- (4) その他の研究会・集会
- a. 招待・特別講演等
- 2357012 塚本 仁：薬剤耐性菌の基礎知識，令和5年度第2回福井県病院薬剤師会 学術研修会，20231221
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	薬剤耐性 (AMR) 対策に向けた抗菌薬の使用動向調査システムの開発に関する研究	後藤 伸之		20200401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	薬剤耐性 (AMR) 対策に向けた抗菌薬の使用動向調査システムの開発に関する研究	後藤 伸之		20200401-20240331	¥0
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額	

業績一覧

共同研究	学校法人京都薬科大学	小細胞肺癌患者におけるUDP-グルクロン酸転移酵素1A1の遺伝子多型がエトポシドの体内動態及びその副作用発現に及ぼす影響	根来 寛、後藤 伸之、重森 美奈	20191001-20240331	¥0
共同研究	学校法人京都薬科大学	小細胞肺癌患者におけるUDP-グルクロン酸転移酵素1A1の遺伝子多型がエトポシドの体内動態及びその副作用発現に及ぼす影響	根来 寛、後藤 伸之、重森 美奈	20191001-20240331	¥0
共同研究	学校法人京都薬科大学	小細胞肺癌患者におけるUDP-グルクロン酸転移酵素1A1の遺伝子多型がエトポシドの体内動態及びその副作用発現に及ぼす影響	根来 寛、後藤 伸之、重森 美奈	20191001-20240331	¥0

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	バレクセル・インターナショナル株式会社	鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎患者におけるデュピクセント治療の長期アウトカム評価	藤枝 重治、高林 哲司、坂下 雅文、山本 大、高橋 翠、田嶋 恭典	20220428-20271231	¥257,400

(B) 奨学寄附金

受入件数	4
受入金額	¥1,000,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本医療薬学会	代議員	塚本 仁
日本薬学会	一般会員	塚本 仁
日本化学療法学会	一般会員	塚本 仁
日本環境感染学会	一般会員	塚本 仁
日本臨床薬理学会	社員	後藤 伸之
日本薬剤疫学会	評議員	後藤 伸之
日本医薬品情報学会	副理事長	後藤 伸之
日本医療薬学会	代議員	後藤 伸之
日本薬学会	一般会員	後藤 伸之

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
-----------------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員の別	氏名	査読編数
J Infect Chemother	査読			1
Biol Pharm Bull	査読			2
YAKUGAKU ZASSHI	査読			1
日本病院薬剤師会雑誌	査読			2
J Infect Chemother	査読			1
Biol Pharm Bull	査読			2
YAKUGAKU ZASSHI	査読			1
日本病院薬剤師会雑誌	査読			2

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
その他	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	事例検討会委員		20230526-20240329

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業	活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
--------	----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項